

# 三重県経済の動向

No.499

HRI(株)百五総合研究所 地域調査部（谷ノ上）

**【現在の景気】**：緩やかに回復している。個人消費は持ち直し、生産は回復、雇用は高水準で推移。

**【当面の見通し】**：緩やかな回復が続く。生産の回復、設備投資のさらなる持ち直しが期待されるなか、雇用は高水準を維持し、所得環境の改善が期待される。

## 個人消費：持ち直し

2月の百貨店・スーパー販売額（既存店、速報）は前年比5.5%減で2か月連続の減少。2月のコンビニ販売額（速報）は3.9%増で4か月連続の増加。家電大型専門店販売額（速報）は1.5%増で3か月連続の増加。ドラッグストア販売額（速報）は6.0%増で47か月連続の増加。3月の乗用車販売台数（普通+小型+軽）は7.3%減で2か月ぶりの減少、普通（ $\Delta 1.9\%$ ）が9か月ぶりの減少、小型（ $\Delta 10.7\%$ ）が2か月ぶりの減少、軽（ $\Delta 9.9\%$ ）が5か月連続の減少。2月の家計消費支出（津市・二人以上の世帯）は、14.9%増で2か月連続の増加、3か月後方移動平均は3か月連続の減少。

## 住宅建築：足踏み

2月の住宅着工戸数は、前年比15.0%減で2か月連続の減少。3か月後方移動平均は0.8%減で3か月ぶりの減少。持家（+10.8%）と分譲（+1.0%）は2か月ぶりの増加となったが、貸家（ $\Delta 53.8\%$ ）が2か月連続の減少。床面積（ $\Delta 3.4\%$ ）は2か月連続の減少。

## 設備投資：持ち直し

2月の建築物着工床面積（非居住用）は、前年比63.5%減と2か月ぶりの減少。3月の貨物自動車販売（普通+小型+軽）は、前年比4.3%増と7か月連続の増加、3か月後方移動平均でも7か月連続の増加。普通貨物（+10.5%）は7か月連続の増加、小型貨物（+8.2%）は3か月連続の増加、軽貨物（+0.8%）は9か月連続の増加。

## 公共工事：横ばい

3月の公共工事請負件数は前年比12.2%減で2か月連続の減少。請負額は35.3%減で3か月ぶりの減少、2018年度累計では8.4%の増加。請負額減少の要因は、昨年度に、中部地方整備局（国）において「津松阪港津地区堤防」関連、中日本高速道路(株)（独立行政法人等）において「新名神高速道路」関連、県土整備部（県）において「宮川流域下水道」、「一般県道湯の山温泉線」、環境生活部（県）において「環境修復事業（桑名市五反田）」関連の大型工事があった影響等による。

## 輸出入：上向き

2月の県内2港（四日市港（尾鷲通関分含む）+津港）の通関輸出額（速報）は、前年比17.6%増で3か月連続の増加。3か月後方移動平均では9か月連続の増加。主要港である四日市港は6.1%増で3か月連続の増加。品目別では有機化合物、半導体等電子部品、原動機などが減少したものの、自動車、荷役機械、自動車の部分品などが増加。県内2港の通関輸入額は、7.0%減と11か月ぶりの減少。

## 生産活動：回復基調続く

1月の鉱工業生産指数（季調済、2015年=100）は115.5で前月比1.5%低下し2か月連続の低下となったが、原指数は110.9で前年比8.6%上昇と16か月連続の上昇。業種別に前月比をみると、輸送機械工業、金属製品工業、プラスチック製品工業などは上昇したが、電子部品・デバイス工業、汎用機械工業、電気機械工業などが低下。在庫指数（季調済）は86.2で、前月比0.0と横ばい。

## 雇用情勢：高水準続く

2月の有効求人倍率（季調済）は1.73倍で、前月比0.03ポイント低下。69か月連続で1倍を超え、全国を上回って推移。新規求人倍率（季調済）は2.49倍で、前月比0.12ポイント低下。新規求人数（原数値）を産業別にみると、建設業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業などは増加したものの、プラスチック製品、はん用機械器具、輸送用機械器具などの製造業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉、サービス業（他に分類されないもの）などが減少。正社員有効求人倍率（原数値）は1.22倍（前年差+0.07ポイント）で前年を上回って推移し、20か月連続で1倍を超えた。

## （トピックス）

- ・ 2019年2月から第1期分譲が始まった木曾岬町の木曾岬干拓地工業用地に、進出企業第1号として、自動車生産設備メーカー「ワード」（名古屋市）が立地を発表。3月19日に立地協定締結。伊勢湾岸道へのアクセスの良さ等が背景に。
- ・ 亀山・関テクノヒルズに、精密金属加工「富士発條」（兵庫県）が新工場設立を発表。3月22日に立地協定締結。新名神開通による利便性や自然災害時等のリスクの低さ等を評価。自動車用リチウムイオン電池の金属部品等を製造。
- ・ 経済産業省「2018年（1～12月期）工場立地動向調査結果（速報）」によると、三重県内における工場用地等の取得（敷地面積1,000㎡以上）は、件数が28件（全国14位）で前年比7.7%増加、面積は52ha（全国10位）で16.1%減少となった。地域別にみると、最も多いのは北勢地域で14件、次いで中南勢地域が7件となった。